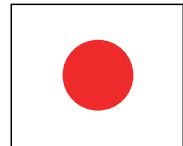


# 神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲げましょう。

皇紀2680年  
一葉月一  
8月号

発行所  
生長の家 両丹道場  
舞鶴市字北吸 497 番地  
TEL (0773) 62-1443  
FAX (0773) 63-7861  
白鳩会 (0773) 63-5080  
発行人 伊藤 夏樹  
編集人 船木 悟

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、  
“神においてすべて一体”の宗教心を多くの人に広げよう！  
◎ 第一線の「誌友会・母親教室」を活発に開催して、壮年層会  
員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



“新しい文明”とは何か？（抜粋）

生長の家総裁 谷口雅宣

“新しい文明”への道は、私たちのすぐ目の前にあるのです。それは、“旧文明”の効率化、省力化、自動化の流れの中で見過ごされ、軽視され、避けられてきたかもしれません。昔から人類が行ってきた活動の中にある。それをひとりでいえば、「自分の肉体をきちんと使う」ということです。すぐに既製品を買うのではなく、自分で工夫して作ってみる。「肉体を使う」ことは「頭を使わない」ことではありません。肉体を使えば脳が活性化し、新しい発想が生まれます。「面倒くさい」と思うかもしれないけれども、やってみてください。必ず創造の喜びが湧き出てくるでしょう。神様は、私たちが喜びを得る道具として肉体を与えてくださったのですから、それを活用しないといけません。肉体は使わないと、どんどん衰えていきます。私たちの“神の子”の本性を表現するために、肉体に感謝し、大切に世話しながらフルに活用する。それは肉体の欲望に従うことではありません。それを制御しつつ、自然と一体である「神の子の本性」を表現するのです。

（『“新しい文明”を築こう』中巻 実践篇「運動の具体的展開」九十六〜九十七頁）

新刊書『“新しい文明”を築こう』を

精読しましょう

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

新刊書『“新しい文明”を築こう』は現在、大好評の上巻・基礎篇「運動の基礎」に続いて、このシリーズの二冊目、中巻・実践篇「運動の具体的展開」が道場に届いています。まだお持ちでない方のためだけに紹介いたしますと、この中巻は「運動の具体的展開」と題した第一章に総裁谷口雅宣先生と白鳩会総裁谷口純子先生の御文章がそれぞれ四篇収録され、第二章には「祭式・儀礼の方法（日本での場合）」と題して、招神歌・光明思念の歌はもちろん、基本的神想観、神を讃える神想観、四無量心を行わずの神想観、如意宝珠観など各種神想観のやり方や、浄心行、祈り合いの神想観の実修法などがわかりやすくまとめられています。行などの指導の立場にある地方講師・光明実践委員にとっても、たいへんに役立つ充実した内容となっています。

祭式・儀礼と言えば、先月もお伝えしましたように、両丹道場二階大道場の実相額前には、現在、七重塔（縮小模型）とその手前に

“造化の三神”の神霊符を納めた三社造りのお社が祭祀されています。この要点は、実相を仏教的に表現した七重塔と、実相の「ムスビ」の働きを表現した神道の“造化の三神”を祭祀することで生長の家が万教帰一を説く教えであることを日本で視覚的に明示することとしたね。詳細につきましては機関誌『生長の家』二〇二〇年七月号に、なんと両丹道場の実相額前の写真！とともに説明されていますので参照ください。また、その七重塔については新刊書『“新しい文明”を築こう』上巻（一六七頁〜）に、そして“造化の三神”については中巻（一五八頁〜）にそれぞれ詳しく説明されています。今回の七重塔と“造化の三神”のお社を祭祀する意義をより深く理解するためにも、やはり、新刊書を読んでしっかりと確認しておきましょう。

さて、皆様すでにご存じの通り、今月一日〜一九日に予定されていた宇治別格本山の「宝蔵神社盂蘭盆供養大祭」は開催中止となりました。そこで本年は、昨年の大祭で招霊祭祀された霊牌と一年以上奉安された霊牌は宇治別格本山の神官により「浄火の儀」で焼納され、また、新しく全国より届けられ

る霊牌については他の月と同様、七月と八月に「霊牌合祀祭」を行ってすべて招霊し宝蔵神社の霊殿に合祀されることになりました。ありがたいですね。皆様のまわりには、「今年は大祭が行われないから霊牌を届けても無駄だ」と思い込んでいらっしゃる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、大祭としては行われなくても、霊牌はこれまで通り丁寧にすべて祭祀されますので、それらの方々にはご安心いただき、例年と同様に霊牌をお届けくださるよう、よろしくおすすめてください。

この宝蔵神社の霊牌供養は大切であり、感謝の気持ちを込めてしっかり取り組みたいと思えますが、もちろん家庭における毎日の供養もとても重要です。谷口雅春先生は『霊供養入門』のはしがきの中で、ご先祖様に真理を供養することについて「悟りの境涯に入らしめ神通自在の百事如意の状態に少しでも多く達するように人間の實相の真理を供養して差し上げるのは吾々子孫の義務であり役目である」「人間・神の子」の真理を知らしめ「本来神通自在の境」に達するように導いて差し上げる事は、吾々子孫が先祖に尽す最高の孝養なる布施行と云わざるを得ないのである」と、真理の供養が私たちの義務であり最高の布施行であることをご指導くださっています。これからも真心込めて毎日真理の供養をさせていただきたいと思えます。そんなとき、新刊書『新しい文明』を築こう』中巻は、この先祖供養及び靈魂祭祀の方法について、またわかりやすく要項としてまとめられており、たいへん参考になります。どうぞ、有意義な先祖供養のお盆を迎えるためにも、私たちは新刊書を精読致しましょう。

〜青年会便り〜  
青年会事務局長 渡利 あすか  
「自然との大調和を祈る」

七月初旬、停滞した梅雨前線の影響で九州をはじめとした日本各地で大雨による災害がもたらされ、たくさんの方が被害に遭われました。亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表します。  
こうした自然災害が起こるたびに、人間の無力さを痛感し、神・自然・人間の調和の自覚をますます深めなければという思いに駆られます。  
「自然は人間を支え、人間に表現手段を与え、人間に喜びを与えている。(中略)両者のあいだに断絶はなく、両者のあいだに争いはなく、両者のあいだには区別さえもないのである。」(『自然と人間の調和を観ずる祈り』より)  
これが自然と人間の本来の姿です。神の創り給いし世界です。その実相を見て、大調和を祈り、私たちが自然と手を取り合って生きる社会を目指して日々の生活を送りたいと思います。  
感謝合掌

私のエコ生活

職員 寸村 幸枝

七月から国はレジ袋を有料化に。ニュースでは、レジ袋の製造会社はこれからは低コストの環境に良いものを考えていかねばならないと言っていました。生活の多くの場面で使われレジ袋等は、何年経っても分解せず、環境にとつては大変な負荷になります。そこで私は買い物する時、もう習慣となつていますが、マイバックを持参し、一個だけ購入する場合はシールを貼ってもらいます。  
自宅また道場でのプラは容器を水洗いし、分別をして出します。また地産地消の食材を選び、ノーマイト料理を心がける一方で、マイボトルは常に手元にキープ、更に職場で習ったエコ運転等、自分で無理なくできることを実践しています。最近では体にも環境にも安全な食品であるかを確認して購入しています。まだまだ出来てない自分ですが、自然に優しい生活をもっと勉強して実行していきたいです。

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には日夜、人類光明化運動・国際平和信仰運動にご挺身いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

去る六月二十一日(日)、十四時三十分～十五時十五分、ZOOM使用のオンライン研修会を開催させていただきました。参加者は二十二名でした。

感想を伺うと、「動画を見て久しぶりに伊藤夏樹教化部長のご指導を受けさせていただき、講師の皆様方のお顔が拝見できて大変嬉しく思いました」との事でした。

研修内容としては、機関誌六月号 四頁～十五頁を重点的にご指導頂きました。そして、ZOOM研修会を受けられなかった方には、伊藤教化部長より資料を作成して頂き、発送させていただく事となりました。到着までしばらくお待ちください。

講師の皆様方には、ご理解の程よろしく願います。

八月度地方講師・光明実践委員ZOOM使用の研修会のご案内

日 時：令和二年八月二十二日(土) 十時～十時四十五分

テキスト：会員必携書『新しい文明』を築こう』上巻 基礎編「運動の基礎」、『生長の家』機関誌当月号、普及誌三誌 No.126

『本当の「大自然」は神の国であり完全円満である』





## 8月度の対策部だより

### 普及誌購読者拡大

ありがとうございます。只今、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、各支部でのリアル誌友会が開催されておりませんが、普及誌を毎月読んで頂いていますでしょうか？

「あ～もったいない」季節や時は次々と変わって行きます。オンライン誌友会やオンライン研修会に参加出来なくても、普及誌が届いたらその日の内に一度目を通しましょう。No.124 フォトエッセイから「現象の移り変わりに捉えずに、常に実相を観じて、実相にある十全の幸福に感謝すべきである」と記載されています。普及誌をどんな時にも手放さないでください。文字が読みにくくても、多用で読む時間が無くても、いつもあなたの側に置いてください。

### 聖使命会員拡大

これまでに経験したことのない数ヶ月に及ぶ自粛生活が続いています。誌友会、母親教室でお会いすることも出来ず色々な行事が中止となっています。そんな困難な時でさえ、毎月毎月聖使命会費を納めてくださる聖使命菩薩様ありがとうございます。先日、誌友さん宅へ会費をお預かりに行きましたら、「誌友会がなくて寂しいけど、あなたの人柄に惹かれて納めさせてもらってるんやで」とか、「この献資のおかげで、家族皆機嫌よう暮らさせてもらってるんやで」と、嬉しい言葉を頂きました。会費の事が言い出しにくかったのですが勇氣百倍となり、聖使命会費を納めて頂く事が出来ました。“急設スタジオ”から総裁先生ご夫妻のお話を拝聴しながら、私達の運動を支えてくださっている尊い聖使命会費の意義をお伝えし、明るく楽しく喜び一杯運動して行きましょう!!

### 支部・誌友会・会員

ありがとうございます。引き続きコロナ感染拡大防止対策にご協力くださいます様、宜しくお願い致します。パソコンやスマホを利用して頂いてますでしょうか？久しくお顔を見ない会員様のお顔が見られていいですよ。これからは暑くなります。熱中症対策もお忘れなくお過ごしください。

#### 〈うちんとこの誌友会〉

ありがとうございます。沖田支部は、後期高齢者6名、高齢者1名です。皆さん、大ベテランの大変熱心な誌友さんで、経験豊かな方ばかりです。何より心強いのは藤本照子講師が居てくださる事です。誌友会では、時々講師そっちのけでトークが盛り上がり、脱線することもしばしばです。皆、自称20歳ですが、若い人の入会を……と思いつつ課題を抱えています。早く従来の誌友会が開催されます様にと願っています。



#### 〈藤井はつ子様投稿〉

4年前主人が亡くなってからは、畑も縮小し一人で気楽に過ごしています。この何ヶ月間、テレビ、新聞を見るとコロナ、コロナ。友達と会う機会も少なくなり、思い付いたのが「断捨離」です。年齢的にも考えなければと思い、これ迄に頂いた生長の家関係のものが一杯たまっています。思い切って整理しようと決めました。とは言っても、1枚1枚読んでいると中々捨てきれず、又、元の所に。でも、大分心も整理が出来ました。その内でも、「糸でんわ」は私にとって宝物で、どなたのを読ませて貰っても色々歴史があり大変勉強になります。私は、金子みすずさんの詩に感動し、数年前、私も気の向くままに書いてみました。当時の事を振り返り乍ら目を通して頂きます。

- ・淋しさと、気楽が同居、する一人
- ・コロナさん、もうそろそろと、お引き取り
- ・「ありがとう」今日は何回言ったかな？
- ・練成会、雰囲気好きで、足向かう



# 令和2年8月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	曜
	(道場休館日)	(道場休館日)	(道場休館日)			☉ (道場休館日) 山の日				(道場休館日)	(教区) 夏の大掃除 (10時)	霊牌奉送祭 (10時) 神宮・職員のみによる開催【オンライン】			聖使命感感謝奉納祭	本部・教化部行事
																教化部長
富永	休み	休み	休み	河合・船木	大西・河田	休み	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	早朝行事担当

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月
			(白)総連会長・対策部長担当会議(10時)	(道場休館日)	(白)正副会長会議(10時)			(相)正副・地区連会長会議【オンライン】(10時)	普及誌仕分け日 (講)地方講師・光実一日研修会及び同 役員会・【オンライン】(10時)	五者会議(10時)	(道場休館日)		住吉神社月次祭(10時)五者と職員のみによる開催【オンライン】	
西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美

☆五者会議及び各組織の会議・研修会はオンラインを予定しております。  
また、先祖供養祭、住吉神社月次祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので、活用ください。

- ☆献納ありがとうございます
- ・杉本 達男 10,000円
- ・岡山 由紀 50,000円
- ☆生物多様性保全募金ありがとうございます
- 1,630円
- ☆お賽銭ありがとうございます
- 25,544円
- ☆住吉神社大祭玉串料
- 13,000円

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について  
 全国で緊急事態宣言が解除されましたが、感染者が後を絶たず、第二波感染の懸念がされる等、今後の見通しがつかないため、道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持いたしております。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。